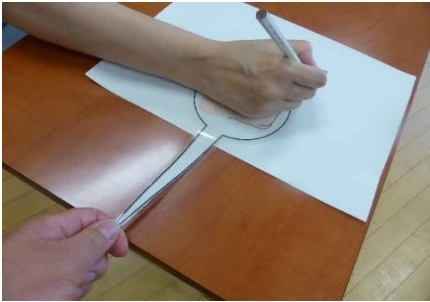
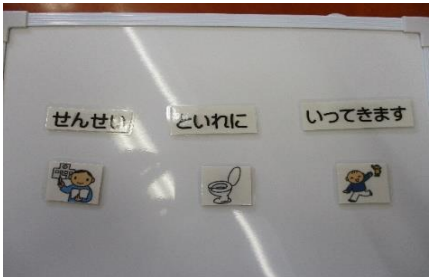


教材紹介（自立活動編）

1	手作りスクーターボード 	楽しく主体的に前庭感覚や固有感覚を刺激して感覚統合を促し、状況に応じた反応や運動動作を引き出す。体幹を鍛えるのにも役立つ。 ゲームやリレーなどの活動で応用でき、いろいろな使い方ができる。
2	筆記の補助具① 	鉛筆などを持つ際に、手が紙や机から浮いてしまう子のために、手を置く場所をイラストで示し、突起部分を指導者が引いて誘導することで、手を紙に付けたまま動かす感覚が分かるようにした。 子どもの好きなイラストにすると興味関心が高まり効果的である。
3	筆記の補助具② 	鉛筆の持ち方が安定するように、ダブルクリップを取り付け、指の位置を分かりやすくし、しっかり持てるようにした。 かわいい絵柄のダブルクリップなどを用意すると、やる気が上がる。
4	ボタン通し 	ボタン通しの学習を通して、手元をよく見ることや、手指の使い方が身に付く。 ボタンやボタンの穴の大きさを変えることで、難易度を変えられる。フェルトを使うと簡単にボタンの穴を作ることができる。
5	うちわのひも通し 	目と手の協応動作や集中力を身に付けることをねらって製作した。 数字を書いて、1から順番に通すなど、算数の学習にも広げることができる。また、通し方によっては、並縫い、まつり縫いなど、裁縫のステッチの練習ができる。

6	りんごのスナップ 	目と手の協応や手指の細かい動作が身に付くことをねらい、スナップの練習教材として製作した。 りんごの色や数を工夫することで、算数や色の名称の学習に広げることができる。
7	クリップ・洗濯ばさみの付け外し 	目と手の協応動作を身に付け、指先を使った作業に慣れることをねらいとしている。 卒業後の事務作業にもつながる。 クリップや洗濯ばさみの色や数を工夫することで、色の弁別、色の名称、数などの理解につながったり、挟むものや紙の枚数を変えると、難易度も調整できる。
8	ビー玉キャッチ 	教師と向かい合って座り、教師が転がすビー玉をビー玉と同じ色のカップでキャッチする。 見る力や目と手の協応動作を高めることをねらいとしている。 教師が色名を伝えながら転がしたり、転がす速さや方向を変えたりするなど、難易度も調整でき、ゲーム感覚で楽しく取り組める。
9	吹いて遊ぶおもちゃ 	声を出すことに苦手意識をもっている児童が、遊びの中で、楽しみながら息をコントロールしたり、口周り機能を高めたりすることをねらいとしています。 息を吹くことで音が出たり、泡が長くつながったりするので、分かりやすく、楽しみながら取り組める。
10	洗濯ばさみとカードのプットイン 	カードから洗濯ばさみを外し、形や向きをよく見て穴に入れる。目と手の協応動作や手指の操作性、集中力を身に付けることをねらいとしている。 洗濯ばさみの穴を小さくすると、入れるときに指先の力がより必要となり、難易度を変えることができる。

11	ペグさし 	丸、三角、四角の形の弁別と、大きさの違いを見分ける教材。大きさの微妙な違いを感じられるように製作した。
12	洗濯ばさみのマッチング 	目的の箇所に洗濯ばさみを付けたり、外したりすることで、目と手の協応動作や指先の力を身に付けることをねらいとして製作した。 カバーフィルムの上にシールが貼ってあるので、シールの色との対応や書き入れた数字や平仮名との対応など、国語・算数の学習にも使用できる。 好きなキャラクターを台紙にすることで、楽しく学習に取り組める。
13	ペープサート「あしたも元気でと」 	言葉が出なかったり、歌うことに抵抗があったりする児童も、ペープサートを使って楽しく歌に参加できるように製作した。 「明日も元気でと」は教師が歌う短いフレーズを真似して歌える歌なので（「森のくまさん」のように）、教師の歌を聴いてからペープサートを操作できる。（写真は一部紹介）
14	コミュニケーションボード 	自分の要求や気持ちを相手に伝えることをねらいとして製作した。 二、三語文で伝える学習にも使用できる。 平仮名が読める場合は、文字を読みながら伝える学習をする。
15	自主学習アルバム 	自分でシートをめくりながら、一人でも取り組めるよう、アルバム形式にした。 内容や学習量を自由に変えることができる。

16	表現カード 	指示理解や意思表示の手立てとして活用する絵カードである。 種類や使用する場面ごとにリングでまとめると、持ち運びやすく、活用しやすくなる。
17	会話練習カード 	生活の中で自然に会話ができるよう、イラストと会話文を組み合わせる。 電子黒板のペンケースに「スイッチをつけてください。」の会話文を表記し、ペンを取る際に自然に言葉で伝えられるようにするなど、いろいろな場面で応用できる。
18	治具の色分け（ tong 使用） 	4色の治具を4つの仕切りに色分けして、分別していくことで、色による仕分けや形の選別に繋げていく。 また、 tong を使うことで手指の操作性、巧緻性の向上をねらうことも兼ねている。
19	○△□チェーンつなぎ 	形の認知の基礎として、○△□の形状のチェーンリングを指定された順番につなげていく教材。形や順番の認知面の学習とともに、つなぎ目とつなぎ目を合わせるため、目と手の協応動作の練習にもなる。 様々なビーズやチェーンリングを活用して、プレスレットなどの飾りやアクセサリ作りに発展させていくこともできる。
20	はらぺこあおむしのひも通し 	はらぺこあおむしのお話を思い出しながら、はらぺこあおむしが食べた順に紐通しを行う。児童が楽しみながら、目と手の協応動作に繋げることができる。

21	ビー玉迷路	ゲーム感覚で両手と目の協応動作を行ったり、力の調整をしたりすることをねらいとしている。 得点（数字）を通りながら、ビー玉をスタートからゴールまで運ぶ。コースを考えたり、得点の場所を変えたりすることができる。1つのビー玉でできたら2つに増やしたり、座ってできたら立って行ったりするなど、難易度を調整することもできる。
22	指先感触遊び	様々な感触をゆっくり少しずつ「すべすべ」「ざらざら」など、簡単な言葉掛けとともに、指先で触れながら、感触を味わって楽しむための教材。 他にも、スライム、粘土、ビニール、セロファン、紐、段ボール、プラスチック、発泡スチロールビーズ等、身近にある素材で、感触遊びとして応用できるものがある。
23	道具の使い方	写真と文で、道具の持ち方や動かし方を分かりやすくした。 〈はさみ〉、〈ホチキス〉、〈輪ゴム〉〈のり〉〈クリップ〉などについて制作。